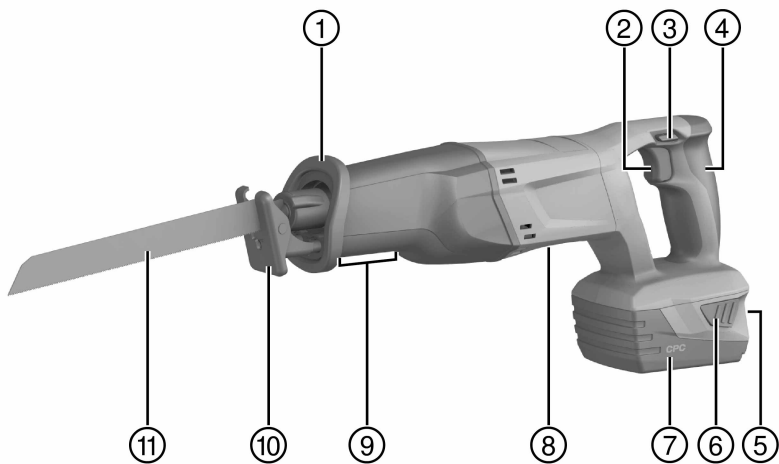


HILTI

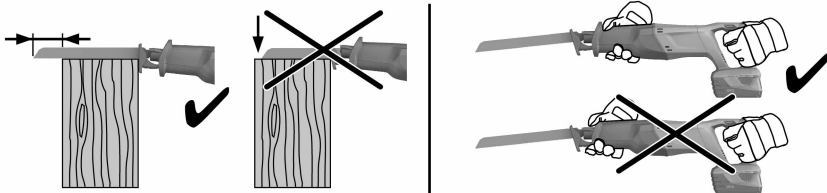
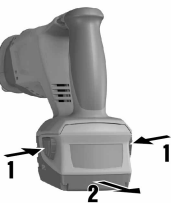
WSR 22-A

Deutsch	de
English	en
Français	fr
Italiano	it
Español	es
Português	pt
Nederlands	nl
Dansk	da
Svenska	sv
Norsk	no
Suomi	fi
Ελληνικά	el
Magyar	hu
Polski	pl
Русский	ru
Česky	cs
Slovenčina	sk
Hrvatski	hr
Slovenščina	sl
Български	bg
Română	ro
Türkçe	tr
عربي	ar
Latviešu	lv
Lietuvių	lt
Eesti	et
Українська	uk
Қазақ	kk
日本語	ja
한국어	ko
繁體中文	zh
中文	cn

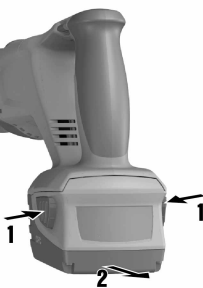




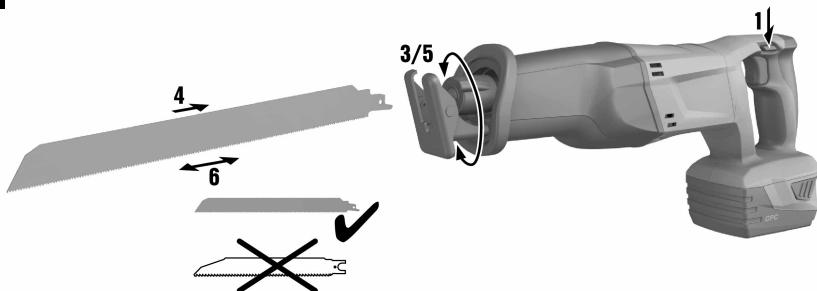
2



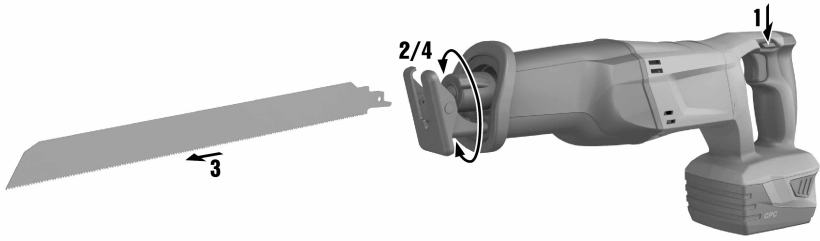
3



4



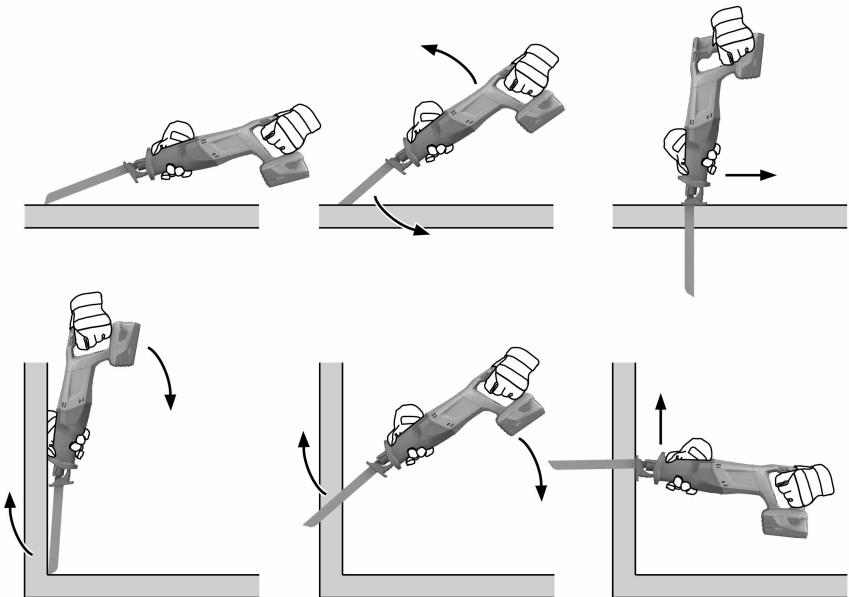
5



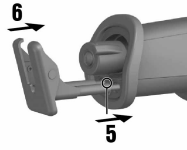
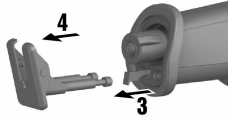
6



7



8



WSR 22-A




de	Original-Bedienungsanleitung	1
en	Original operating instructions	12
fr	Mode d'emploi original	23
it	Istruzioni originali	34
es	Manual de instrucciones original	45
pt	Manual de instruções original	56
nl	Oorspronkelijke handleiding	67
da	Original brugsanvisning	78
sv	Originalbruksanvisning	88
no	Original bruksanvisning	98
fi	Alkuperäiset ohjeet	108
el	Μετάφραση οδηγιών χρήσης από το πρωτότυπο	118
hu	Eredeti használati utasítás	130
pl	Oryginalna instrukcja obsługi	141
ru	Оригинальное руководство по эксплуатации	152
cs	Originální návod k obsluze	164
sk	Originálny návod na obsluhu	174
hr	Originalne upute za uporabu	185
sl	Originalna navodila za uporabo	196
bg	Оригинално Ръководство за експлоатация	207
ro	Manual de utilizare original	219
tr	Orijinal kullanım kılavuzu	230
ar	دليل الاستعمال الأصلي	241
lv	Originālā lietošanas instrukcija	252
lt	Originali naudojimo instrukcija	263
et	Algupärane kasutusjuhend	274
uk	Оригінальна інструкція з експлуатації	284
kk	Түпнұсқа пайдалану бойынша нұсқаулық	296
ja	オリジナル取扱説明書	307
ko	오리지널 사용설명서	318
zh	原始操作說明	328
cn	原版操作说明	337

1 記録データ

1.1 記号の説明




1.1.1 警告表示

警告表示は製品の取扱いにおける危険について警告するものです。記号と組み合わせて以下の注意喚起語が使用されています：

	危険！ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。
	警告事項！ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。
	注意！ この表記は、軽傷あるいは物財の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。



1.1.2 記号

以下の記号が使用されています：

	使用前に取扱説明書をお読みください
	本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報
/min	ストローク数 / 分
n_0	ストローク数
	直流

1.1.3 図

本取扱説明書の図は基本的な理解のためのもので、実際の仕様とは異なる場合があります：

	この数字は本取扱説明書冒頭にある該当図を示しています。
3	図内の付番は図中の作業手順の順序に対応していて、本文の作業手順の付番とは一致しない場合があります。
	概要図には項目番号が付されています。製品概要のセクションでは、凡例の番号はこの項目番号に対応しています。

1.2 本書について

- ▶ ご使用前にこの取扱説明書をすべてお読みください。このことは、安全な作業と問題のない取扱いのための前提条件となります。
- ▶ 本書および本体に記載されている安全上の注意と警告表示に注意してください。
- ▶ 取扱説明書は常に本体とともに保管し、他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。

予告なく変更されることがあります、また誤記の可能性を完全に排除できません。

1.3 製品情報

Hilti の製品はプロ仕様で製作されており、本体の使用、保守、修理を行うのは、認定を受けトレーニングされた人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。製品およびアクセサリーの使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外の使用は危険です。

- 銘板の機種名と製造番号を以下の表に書き写しておいてください。
- ▶ 弊社代理店やサービスセンターへお問い合わせの際には、必ずこの情報をお知らせください：

製品データ

レシプロソー	WSR 22-A
製品世代：	01
製造番号：	

2 安全

2.1 安全上の注意

以下の章で言及されている安全上の注意事項は、準拠する規格が取扱説明書に記載するように定めている電動工具に関するすべての基本的な安全情報を含んでいます。したがって、この取扱説明書で説明する機器には関係のない注意事項が含まれていることもあります。

2.1.1 電動工具の一般安全注意事項

⚠ 警告事項 安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。これらを守らないと、感電、火災および/または重傷事故の危険があります。

安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。

安全上の注意で使用する用語「電動工具」とは、お手持ちの電動ツール（電源コード使用）およびバッテリーツール（コードレス）を指します。

作業環境に関する安全

- ▶ 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
- ▶ 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では電動工具を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。
- ▶ 電動工具の使用で、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそらされると、本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

電気に関する安全注意事項

- ▶ 電動工具の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。プラグは絶対に変更しないでください。アースした電動工具と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を小さくすることができます。
- ▶ パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。
- ▶ 電動工具を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。
- ▶ 電動工具を持ち運んだり、吊り下げたり、コンセントからプラグを抜いたりするときは、必ず本体を持ち、電源コードを持ったり引っ張ったりしないでください。電源コードを火気、オイル、鋭利な刃物、本体の可動部等に触れる場所に置かないでください。コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が大きくなります。
- ▶ 屋外工事の場合には、屋外専用の延長コードのみを使用してください。屋外専用の延長コードを使用すると、感電の危険が小さくなります。
- ▶ 湿った場所で電動工具を動作させる必要がある場合は、漏電遮断器を使用してください。漏電遮断器を使用すると、感電の危険が小さくなります。

作業者に関する安全

- ▶ 電動工具を使用の際には、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。
- ▶ 個人用保護具および保護メガネを常に着用してください。けがに備え、電動工具の使用状況に応じた粉じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの個人用保護具を着用してください。
- ▶ 電動工具の不意な始動は避けてください。電動工具を電源および/またはバッテリーに接続する前や本体を持ち上げたり運んだりする前に、本体がオフになっていることを必ず確認してください。オン/オフスイッチが入っている状態で電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、電源に接続したりすると、事故の原因となる恐れがあります。
- ▶ 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。
- ▶ 作業中は不安定な姿勢をとらないでください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- ▶ 作業に適した作業着を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋を本体の可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- ▶ 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。

電動工具の使用および取扱

- ▶ 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、効率よく、スムーズかつ安全な作業が行えます。

- ▶ スイッチに支障がある場合には、電動工具を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- ▶ 本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーを取り外してください。この安全処置により、電動工具の不意の始動を防止することができます。
- ▶ 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みでない方による本体のご使用はお避けください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- ▶ 電動工具は慎重に手入れしてください。可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分の修理を依頼してください。発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。
- ▶ 先端工具は鋭利で汚れない状態を保ってください。お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。
- ▶ 電動工具、アクセサリー、先端工具などは、それらの説明書に記載されている指示に従って使用してください。その際、作業環境および用途に関してもよくご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

バッテリーの使用および取扱い

- ▶ バッテリーを充電する場合は、必ずメーカー推奨の充電器を使用してください。特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、火災の恐れがあります。
- ▶ 電動工具には、必ず指定されたバッテリーを使用してください。指定以外のバッテリーを使用すると、負傷や火災の恐れがあります。
- ▶ 使用しないバッテリーの近くに、事務用クリップ、硬貨、キー、釘、ネジ、その他の小さな金属片を置かないでください。電気接点の短絡が起こることがあります。バッテリーの電気接点間が短絡すると、火傷や火災が発生する危険があります。
- ▶ バッテリーが正常でない時、液漏れが発生することがあります。その場合、漏れた液には触れないでください。もしも触れてしまった場合は、水で洗い流してください。バッテリー液が眼に入った場合は、水で洗い流してから医師の診察を受けてください。流出したバッテリー液により、皮膚が刺激を受けたり火傷を負う恐れがあります。

サービス

- ▶ 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性が確実に維持されます。

2.1.2 ジグソー / レシプロソーの安全上の注意

- ▶ 作業の実施に伴い先端工具が隠れている電線に接触する可能性がある場合は、電動工具を絶縁されたグリップ面で保持するようにしてください。通電しているケーブルと接触すると、本体の金属部分にも電圧がかかり、感電の危険があります。

2.1.3 その他の安全上の注意

作業者に関する安全

- ▶ クランプあるいはその他の適切な方法により、作業材料を固定して安定した位置に保持してください。作業材料を手あるいは身体で保持することは不安定で、コントロールを失う危険があります。
- ▶ 本体の加工や改造は絶対に行わないでください。
- ▶ 耳栓を着用してください。騒音により、聴覚に悪影響が出る恐れがあります。
- ▶ 本体に集じん装置を取り付けずに作業をする場合、作業される方は防じんマスクを着用しなければなりません。
- ▶ 休憩を取って緊張をほぐし、指を動かして血行を良くするように心がけてください。
- ▶ 本体は、体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。
- ▶ 本体は子供の手が届かないところに保管してください。
- ▶ 先端工具は使用することで熱くなり、またソーブレードのカットングエッジは鋭いので、先端工具の交換時には保護手袋を着用してください。
- ▶ 本製品の電源は必ず作業場で入れてください。
- ▶ 本体を保管および搬送する際は、スイッチインターロックを作動させてください。
- ▶ 意図しない始動が生じないようにしてください。スイッチに指を掛けた状態で本体を持ち運ばないでください。本体を使用しない時（仕事の休憩中、手入れや保守を行う時、先端工具の交換時、搬送中）は、バッテリーを本体から取り外してください。
- ▶ 各国の労働安全衛生法に従ってください。
- ▶ 含鉛塗料、特定の種類の木材、コンクリート / 石材、石英を含む岩石、鉱物および金属などの母材から生じた粉じんは、健康を害する恐れがあります。作業者や近くにいる人が粉じんに触れたり吸い込んだ

だりすると、アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。カシヤブナ材などの特定の粉じんは、特に木材処理用の添加剤（クロム塩酸、木材保護剤）が使用されている場合、発ガン性があるとされています。アスベストが含まれる母材は、必ず専門家が取り扱うようにしてください。できるだけ集じん装置を使用してください。集じん効率を高めるには、適切な可動集じん装置を使用してください。必要に応じてそれぞれの粉じんに適した防塵マスクを着用してください。作業場の換気に十分配慮してください。処理する母材について、各国で効力を持つ規定を遵守してください。

電気に関する安全注意事項

▶ 作業を開始する前に、作業場に埋設された電線、ガス管や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。例えば、作業中に誤って先端工具が電線に触れると、本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。この場合、感電による重大な事故が発生する危険があります。

レスプロソー特有の安全上の注意

- ▶ 作業時には必ず本体を身体から離すようにしてください。
- ▶ 決してソーブレードの前に手を差し出したり、触れたりしないでください。
- ▶ 未知の母材には決して切断を行わないでください。切断ラインの上面と下面から障害物を取り除いてください。ソーブレードが切断面に当たった時に、本体に対して反力が作用することがあります。
- ▶ 特にパイプ直径が大きい場合にパイプカットアダプター（アクセサリ）を使用するときは、適切な押し付け力と適度な切断速度で作業してください。これにより、本体の過熱を防止することができます。
- ▶ 警告事項！ パイプ類を切断する場合は（解体および据付け工事など）、パイプ内に水滴が残っていないことを前もって確認してください。必要に応じてパイプを空にしてください。パイプを切断する場合には、本体をパイプより上の位置に保持してください。本体は耐水仕様ではありません。水滴が本体にかかると短絡の原因となることがあります。
- ▶ 本体は規定の切断能力範囲内で、適切なブレード（レスプロソーに対応した正しい寸法で 1/2" コネクションエンドの付いたソーブレード）を取り付けて使用してください。

バッテリーの慎重な取扱いおよび使用

- ▶ Li-Ion バッテリーの搬送、保管、作動については特別規定を守ってください。
- ▶ バッテリーは高温と火気を避けて保管してください。爆発の恐れがあります。
- ▶ 湿気が入らないようにしてください。湿気が浸入すると短絡を引き起こしたり、火傷や火災が発生する可能性があります。
- ▶ バッテリーを分解したり、挟んだり、80 °C (176°F) 以上に加熱したり、燃やしたりしないでください。これを守らないと、火事、爆発、腐食の危険があります。
- ▶ 損傷したバッテリー（例えば亀裂や破損箇所があったり、電気接点曲がっていたり、押し戻されていたり、引き抜かれているバッテリー）は、充電することも、そのまま使用を続けることもできません。
- ▶ バッテリーを他の電気器具の電源用に使用しないでください。
- ▶ バッテリーが掴むことのできないほどに熱くなっている場合は、故障している可能性があります。本体を監視可能な火気のない場所に可燃性の資材から十分に距離をとって置き、冷ましてください。バッテリーを冷ました後、Hilti サービスセンターにご連絡ください。

3 製品の説明

3.1 製品概要 1

- | | |
|-----------------------|------------------------------------|
| ① ブレードクランプ / ブレードホルダー | ⑦ バッテリー |
| ② 無段変速スイッチ | ⑧ 銘板 |
| ③ スイッチインターロック | ⑨ フロントエンドグリップ（ハンドガード） |
| ④ グリップ | ⑩ AVR（アクティブバイブレーションリダクション）プロテクトシュー |
| ⑤ バッテリー充電状態インジケーター | ⑪ ソーブレード |
| ⑥ バッテリーリリースボタン | |

3.2 正しい使用

本書で説明している製品は充電式レスプロソーです。木材、木製および金属製の母材、ならびにプラスチックの切断に使用するものです。

本製品は両手操作用として設計されています。

- ▶ 本製品には、必ずHiltiのB 22シリーズのLi-Ionバッテリーを使用してください。
- ▶ これらのバッテリーには、必ずHiltiのC4/36シリーズの充電器を使用してください。

3.3 考えられる誤った使用

- ▶ レンガ、コンクリート、気泡コンクリート、天然石、タイルを切断しないでください。
- ▶ 本製品を、水滴が残っているパイプの切断に使用しないでください。
- ▶ 未知の母材には切断を行わないでください。

3.4 Li-Ion バッテリーのインジケータ

Li-Ion バッテリーの充電状態および本体の不具合は、Li-Ion バッテリーのインジケータにより表示されます。Li-Ion バッテリーの充電状態は、2つのバッテリーリリースボタンのいずれかを押しと表示されます。

状態	意味
4 個の LED が点灯。	• 充電状態：75 %...100 %
3 個の LED が点灯。	• 充電状態：50 %...75 %
2 個の LED が点灯。	• 充電状態：25 %...50 %
1 個の LED が点灯。	• 充電状態：10 %...25 %
1 個の LED が点滅。	• 充電状態：< 10 %
1 個の LED が点滅、本体は作動不能状態。	• バッテリーが過熱あるいは完全に放電している。
4 個の LED が点滅、本体は作動不能状態。	• 本体の過負荷あるいは過熱。



注意事項

コントロールスイッチの操作中、およびこのスイッチから指を放してから 5 秒が経過するまでの間は、充電状態を確認することはできません。バッテリーのインジケータの LED が点滅している場合は、「故障時のヒント」の章の注意事項を確認してください。

3.5 本体標準セット構成

レスプロソー、取扱説明書。



注意事項

安全な作動のために、必ず純正のスペアパーツと消耗品を使用してください。本製品向けに弊社が承認したスペアパーツ、消耗品およびアクセサリは、最寄りの Hilti センター、または www.hilti.com でご確認ください。

4 製品仕様

4.1 レスプロソー

	WSR 22-A
定格電圧	21.6 V
重量 (EPTA プロシージャ 01/2003 に準拠)	3.8 kg
ストローク数	0/min ... 3,000/min
ストローク長	28 mm
ブレードクランプキーレス、標準ブレード用	1/2 in

4.2 騒音および振動値について (EN 60745 準拠)

本説明書に記載されているサウンドプレッシャー値および振動値は、規格に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。曝露値の暫定的な予測にも適しています。記載されているデータは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、データが異なることがあります。このような相違により、作業時間全体で曝露値が著しく高くなる可能性があります。曝露値を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で曝露値が著しく低くなる可能性があります。作業者を騒音および/または振動による作用から保護するために、他にも安全対策を立ててください (例：電動工具および先端工具の手入れや保守、手を冷やさないようにする、作業手順の編成)。

騒音排出値、EN 60745 準拠

	WSR 22-A
サウンドパワーレベル (L_{WA})	93 dB(A)
サウンドパワーレベルの不確実性 (K_{WA})	3 dB(A)
サウンドプレッシャーレベル (L_{pA})	82 dB(A)
サウンドプレッシャーレベルの不確実性 (K_{pA})	3 dB(A)

合計振動値 (3 方向のベクトル合計)、EN 60745 準拠

	WSR 22-A
排出振動値 (チップボード切断) ($a_{h,B}$)	16 m/s ²
排出振動値 (角材切断) ($a_{h,WB}$)	18 m/s ²
不確実性 (K)	1.5 m/s ²

5 ご使用方法

5.1 安全な作業 2



注意

負傷の危険 製品は意図せず作動することがあります。

- ▶ 本体の設定、またはアクセサリーの交換の前にバッテリーを取り外してください。



警告

負傷の危険 反動による危険。

- ▶ ソーブレードはストロークサイクル中は常に作業材料の端から突き出ている必要があります。



警告

負傷の危険 ブレードクランプ / ブレードホルダー

- ▶ 本体は必ず両手でグリップを掴んで確実に保持してください。本体は必ずハンドガードを取り付けて使用してください。



注意事項

本体の AVR (アクティブバイブレーションリダクション) プロテクトシューを作業材料に押し当ててください。これにより、最適で安全な作業を保証することができます。

- ▶ バッテリーを製品から後方へ引き抜きます。

5.2 バッテリーを取り外す 3

1. 2 つのリリースボタンを押して、その状態を保ちます。
2. バッテリーを製品から後方へ引き抜きます。

5.3 ソーブレードを装着する 4



注意事項

必ず 1/2" コネクションエンドのソーブレードを使用してください。

1. スイッチインターロックを作動させます。
2. 先端工具のコネクションエンドが汚れていないか、グリスが塗布されているか確認します。必要であれば、コネクションエンドの汚れを取り除き、グリスを薄く塗ってください。
3. ブレードクランプのロックングスリーブを反時計方向に回し、ロックングスリーブを押しした状態で保持します。
4. ソーブレードを前からブレードクランプに押し込みます。
5. ロックングスリーブを元に戻してカチッと噛み合わせます。
6. ソーブレードを引っ張り、きちんと噛み合っていることを確認します。

5.4 ソーブレードを取り外す 5

1. スイッチインターロックを作動させます。
2. ブレードクランプのロックングスリーブを反時計方向に回し、ロックングスリーブを押した状態で保持します。
3. ソーブレードをブレードクランプから前方に引き出します。
4. ロックングスリーブを元に戻します。

5.5 バッテリーを装着する 6



警告
電気的な危険 短絡による危険。

- ▶ バッテリーを装着する前に、バッテリーの電気接点とレシプロソーの電気接点に異物が入っていないか確認してください。



警告
負傷の危険 バッテリーの落下による危険があります。

- ▶ バッテリーが落下してご自身あるいは他の方が怪我をする恐れがあります。バッテリーがレシプロソーにしっかりと装着されていることを確認してください。

- ▶ カチカッチと音がするまでバッテリーを製品の後部から挿入します。

5.6 スイッチオン

1. スイッチインターロックを非作動にします。
2. コントロールスイッチを押します。

5.7 スイッチオフ



警告
負傷の危険 慣性回転しているソー。

- ▶ 本製品は、必ず完全に停止してから作業材料から放してください。
- ▶ 本製品は完全に停止するまで置かないでください。

1. コントロールスイッチから指を放します。
2. スイッチインターロックを作動させます。

5.8 ブランジソーイング 7



警告
負傷の危険 反動による危険。

- ▶ ブランジソーイングの際、作業場の裏側の安全を確保してください。必ず適切な（できるだけ短い）ソーブレードを使用してください。



注意事項

ブランジソーイングは、短いソーブレードを使用して柔らかい母材に対してのみ行ってください。ブランジカットを開始する時の本製品の位置は、次の2通りがあります：ノーマル位置あるいはリバース位置。

1. 本製品の AVR（アクティブバイブレーションリダクション）プロテクトシューのフロントエッジを母材に当てます。
2. スイッチインターロックを作動させます。
3. コントロールスイッチを押します。
4. 本製品を母材にしっかりと押し付け、本体（プロテクトシュー）を母材の方に傾けながらブランジを開始します。



注意事項

ソーブレードを母材に接触する前に本製品が作動していなければなりません。この状態でなければ本製品が停止することがあります。

5. ソーブレードが母材を突き抜いたら、本製品をノーマル位置に戻し（AVR（アクティブバイブレーションリダクション）プロテクトシューの面全体を接触させる）、切断ラインに沿って切断を続けます。

5.9 AVR（アクティブバイブレーションリダクション）プロテクトシューの交換



注意事項

AVR（アクティブバイブレーションリダクション）プロテクトシューは必要に応じて交換できます。

1. スイッチインターロックを作動させます。
2. ソーブレードを取り外します。
3. 四角いプラスチックピンを前に引きます。



注意事項

プラスチックピンは、AVR（アクティブバイブレーションリダクション）プロテクトシューのガイドピン 2 本の間にあります。

4. AVR（アクティブバイブレーションリダクション）プロテクトシューを引き出します。
5. 四角いプラスチックピンを押し戻して元の位置にします。
6. グリスを薄く塗った AVR（アクティブバイブレーションリダクション）プロテクトシューをガイドに完全に装着します。
7. プロテクトシューがロックしていることを確認します。

6 手入れ、保守、搬送および保管

6.1 レシプロソーの手入れ



警告

電流による危険。電気部品の誤った修理は重傷事故の原因となることがあります。

- ▶ 電気部品の修理は、必ず専門の知識を有する電気技術者に依頼してください。

- ▶ 本製品、特にグリップ表面を乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスが付着しないようにしてください。洗剤、磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。
- ▶ 通気溝が覆われた状態で本製品を使用しないでください。通気溝を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。本製品内部に異物が入らないようにしてください。
- ▶ 定期的に、少し湿したウエスで本製品の表面を拭いてください。スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。



注意事項

安全な作動のために、必ず純正のスベアパーツと消耗品を使用してください。本製品向けに弊社が承認したスベアパーツ、消耗品およびアクセサリーは、最寄りのHilti センター、または www.hilti.com でご確認ください。

6.2 搬送および保管

搬送



注意

搬送時の予期しない始動。バッテリーが装着されていると、搬送時に本体が誤って作動して損傷する可能性があります。

- ▶ 本体は常にバッテリーを装着していない状態で搬送してください。

- バッテリーを取り外します。
- 本体とバッテリーは個別に梱包して搬送してください。
- バッテリーは決して梱包しない状態で搬送しないでください。
- 本体とバッテリーを長距離にわたって搬送した後は、使用の前に損傷がないかチェックしてください。

保管上の注意事項



注意

故障したバッテリーによる予期しない損傷。バッテリーから流れ出た液体で、本体に損傷を与える可能性があります。

- ▶ 本体は常にバッテリーを装着していない状態で保管してください。

- 本体とバッテリーは、できるだけ涼しくて乾燥した場所に保管してください。
- バッテリーを太陽の直射下、ラジエーターの上、窓際等で保管しないでください。
- 本体とバッテリーは、子供や権限のない人が手を触れることのないようにして保管してください。
- 本体とバッテリーを長期間にわたって保管した後は、使用前に損傷がないかチェックしてください。

6.3 手入れと保守を行った後の点検

- ▶ 手入れ、保守の作業を済ませた後は、すべての安全機構が取り付けられ、正常に作動するか点検してください。

7 故障時のヒント

- ▶ この表に記載されていない、あるいはご自身で解消することのできない故障が発生した場合には、弊社営業担当またはHilti 代理店・販売店にご連絡ください。

7.1 レシプロソーは作動不可能

故障	考えられる原因	解決策
LED 表示がない。	バッテリーが完全に装着されていない。	▶ バッテリーを「カチッカチツ」と音がするまでロックする。
	バッテリーが空。	▶ バッテリーを充電する。
	スイッチインターロックが操作されていない。	▶ スwitchインターロックを操作する。
1 個の LED が点滅。	バッテリーが放電している。	▶ バッテリーを交換し、空のバッテリーを充電する。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる。	▶ バッテリーを推奨運転温度まで冷やす / 暖める。

7.2 レシプロソーは作動可能

故障	考えられる原因	解決策
本体機能がフルに発揮されない。	コントロールスイッチの握り込みが不十分。	▶ コントロールスイッチを一杯に握り込む。
	バッテリーが放電している。	▶ バッテリーを交換し、空のバッテリーを充電する。
ソーブレードをブレードクランプから取り出せない。	ロックングスリーブがストップ位置まで回されていない。	▶ ロックングスリーブをストップ位置まで回してソーブレードを取り外す。

8 廃棄



警告

負傷の危険。 誤った廃棄による危険があります。

- ▶ 機器を不適切に廃棄すると、以下のような問題が発生する恐れがあります：プラスチック部品を燃やすと毒性のガスが発生し、人体に悪影響を及ぼすことがあります。電池は損傷したりあるいは激しく加熱されると爆発し、毒害、火傷、腐食または環境汚染の危険があります。廃棄について十分な注意を払わないと、権限のない者が装備を誤った方法で使用する可能性があります。このような場合、ご自身または第三者が重傷を負ったり環境を汚染する危険があります。
- ▶ 故障したバッテリーはただちに廃棄してください。廃棄したバッテリーは子供の手の届かない所に置いてください。バッテリーを分解したり、燃やしたりしないでください。
- ▶ バッテリーは各国の法律規制に従って廃棄するか、使わなくなったバッテリーはHiltiへ返送してください。



Hilti 製品の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でHiltiは、古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはHilti 代理店・販売店にお尋ねください。

古い電気および電子工具の廃棄に関するヨーロッパ基準と各国の法律に基づき、使用済みの電気工具は一般ゴミとは別にして、環境保護のためリサイクル規制部品として廃棄してください。



- ▶ 本体を一般ゴミとして廃棄してはなりません。

9 メーカー保証

- ▶ 保証条件に関するご質問は、最寄りのHilti 代理店・販売店までお問い合わせください。

10 EU 規格の準拠証明

メーカー

Hilti Aktiengesellschaft
Feldkircherstrasse 100
9494 Schaan
Liechtenstein

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します。

名称	充電式レシプロソー
機種名	WSR 22-A
製品世代	01
設計年	2009
適用基準：	<ul style="list-style-type: none">• 2004/108/EG (2016年4月19日まで)• 2014/30/EU (2016年4月20日以降)• 2006/42/EG• 2006/66/EG• 2011/65/EU
適用規格：	<ul style="list-style-type: none">• EN 60745-1, EN 60745-2-11• EN ISO 12100

技術資料管理者：

- Zulassung Elektrowerkzeuge

Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH
Hiltistraße 6
86916 Kaufering
Deutschland

Schaan, 2015/09



Paolo Luccini
(Head of BA Quality and Process Management /
Business Area Electric Tools & Accessories)



Tassilo Deinzer
(Executive Vice President / Business Unit Power
Tools & Accessories)



Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423/234 21 11

Fax: +423/234 29 65

www.hilti.com



408057